二月二十日夕刊

常磐毎日新聞

日曜日

定價一部金貳錢　郵送料五錢
廣告料五錢十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行人兼印刷人　川崎文治
發行所　常磐毎日新聞社
福島縣石城郡平町長橋町三五
電話六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

# 國家的大試練（四）

辯護士　門傳清吾

而して、今後の日本は、正に日本の世界たる理想と奮鬪とに入らねばならぬ。世界の日本たる地位を進めて、日本の世界たる地位に入り、日本の王道原理によつて、世界を最高正義に指導し救濟し、全人類の最高文化を建設すべき高大の理想に立ち、此の理想の下に國民的奮鬪を積むを要す。此間の使命は、實に、天が日本國民に與へたる日本獨自の天務であり天權であると云ふ確信に入らねばならぬ。今回の事變は、種々なる意義に於て、日本國民の天權天務の自覺を促して居る。天權天務を自覺して、猛然として、日本國民の大使命を邁進すべき天與の試錬であることを、今日、深く會得し體認せなければならぬ。

今次の事變は、世界的關係を有するに於て、蓋し、近世史上の重大事實であつて、單に、極東の一局面の現象として輕々に看過し去るべきでない。隨つて、我が日本は、此の機に當つて東洋平和と正義との確保のために、日本の使命を行ふと共に、此の際、大に、日本國體の大義を明らかにし日本の國家組織の原理を明らかにし、日本の日本たる本領と精華とを世界に宣揚せなければならぬ。等しく君主立憲國と稱するも、我が日本と英國とは、其の國體に於て、根本的の差異がある。況んや君主立憲國ならざる他の諸外國に於てをや。國と國との交際は、固とより信義と公道とを踐むを原則とするも、信義公道は、國體の大義、國家の原理を離れて成立せず、國體の大義を尊重し國家の第一義を尊重し、大義に遵由する處に、信義公道が成り立つ。曾て、ロンドン、タイムスは、日本の國民性と國體とは、全く、歐米人の想像し及ばざる神秘の靈的實在の存するを說き、如何なる世界の變動や外來の刺戟があつても、日本の國體は、益々堅牢と嚴肅とを加ふるのみであつて、毫末も動搖を來たすものではないとの主張を發表したことがあるが、斯る觀念は、我が日本國民に於ては、全く日常普通の信念であつて、日本國民の國體信念の眞義は更に、神聖且つ深遠の原理があつて、易く外人の想像を許さざるものがある。隨つて、國際上の諸事件に於て、其の第一要件として、日本の國體尊崇の第一義を忘れてはならぬ。先きに、不戰條約に於て、人民の名に於ての一節のために、重大問題を惹き起したのは、全く、日本國体に關する根本觀念に不用意のあつた失態に基づく。今回も聯盟側に於ては、或は、日本の軍事行動に就いて干涉がましき言動を弄せんとする傾向があつたが、斯の如きは、日本の國体原理の上よりして、斷乎として拒否せなければならぬ。斷乎として之れを拒否せざるは、國体觀念の欠乏、乃至、國体に對する不謹愼として、其の罪實に許すべからざるものがある。元來、日本と支那とを相對國として取り扱ふ事が既に根本の誤謬である。

支那はロンドンタイムスの斷案を下せる如く無政府と內亂の國である。官民を問はず禽獸に劣る野蠻民族である。

無秩序と暴虐掠奪殺戮の横行に於て、今日の支那の如きは全く世界に類を求め難いであらう此の暴虐無秩序の蠻族と日本とを相對的に見る事既に根本の錯誤である

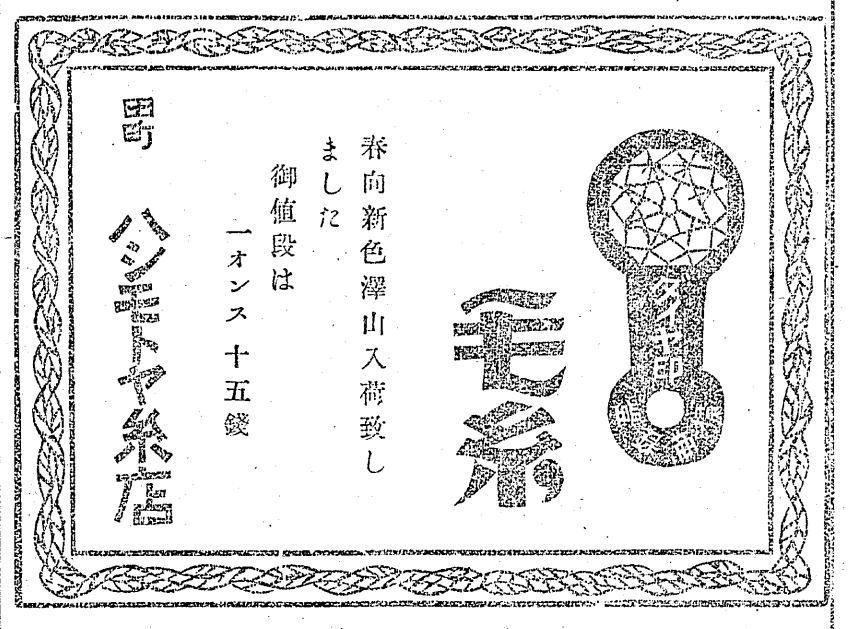
貸切の●●
御用命は？
獅子吼（四四九）ノ勢デ
眞先ニ……（マツサキ）
三九二タクシーへ!!!

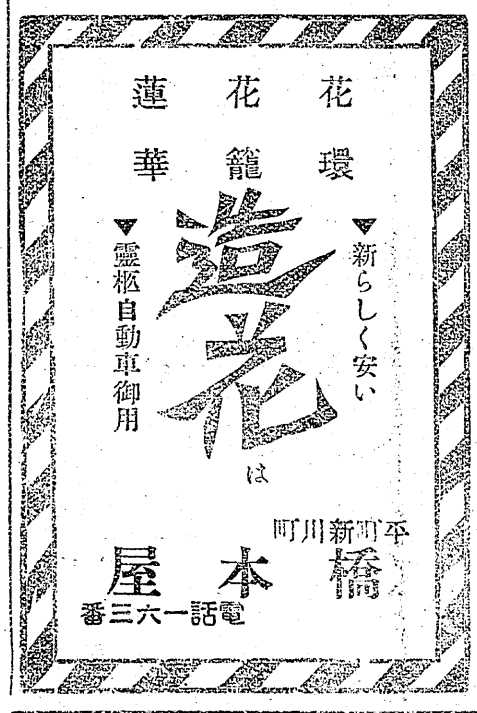
吉田眼科病院
平鈴屋町、電話六八番

御重入辨當
寄なべ　はまなべ　鳥なべ
ちりなべ　かきなべ
ゼヒ一度御試食下さい……
出前迅速　錦水
田町末廣東隣り（電話四五四番）

日本料理　食堂

耳鼻咽喉科專門
氣管食道科
平南町（電話一七〇番）
大和田醫院



# △各候補採點記入票▽

| 町村 | 有權者數 | 鈴木 | 佐藤 | 比佐 | 氏家 | 政友合計 | 民政合計 | 木村 | 佐藤 | 比佐 | 氏家 | 政友合計 | 民政合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平町 | 四、四一九 | | | | | | | 一、二一三 | 四八三 | 二、〇一三 | 二一一 | 一、六九六 | 二、三四 |
| 内郷 | 五、三六九 | | | | | | | 六二八 | 三八〇 | 三、〇六二 | 一九一 | 一、〇〇八 | 三、二五三 |
| 好間 | 二、二六八 | | | | | | | 三九二 | 一七〇 | 一、二五六 | 一五〇 | 五六二 | 一、〇〇六 |
| 赤井 | 一、四一五 | | | | | | | 一九〇 | 一九四 | 八〇五 | 二九 | 二六四 | 八三四 |
| 平窪 | 六二八 | | | | | | | 二五三 | 八二 | 二三七 | 三 | 一、二三五 | 二四〇 |
| 小川 | 八七四 | | | | | | | 二四九 | 一三六 | 二五四 | 九 | 二六五 | 三六三 |
| 永戸箕輪 | 八〇八 | | | | | | | 九九 | 九一 | 四四五 | 九 | 一九〇 | 四五四 |
| 三坂澤渡 | 八二九 | | | | | | | 五二 | 二〇四 | 三八六 | 七 | 二五九 | 三九三 |
| 神谷 | 六七二 | | | | | | | 八一 | 三〇七 | 二三三 | 一三 | 二八八 | 二四六 |
| 飯野 | 六四五 | | | | | | | 二六七 | 三三 | 二七六 | 五 | 三〇〇 | 三〇九 |
| 高久 | 五一五 | | | | | | | 一二八 | 六四 | 一七五 | 七五 | 一九二 | 一五〇 |
| 夏井 | 五四〇 | | | | | | | 九九 | 五三 | 二七二 | 一九 | 一八一 | 二九一 |
| 江名 | 一、一四四 | | | | | | | 三六 | 七八 | 三八九 | 一五三 | 四〇四 | 五四二 |
| 豊間 | 七三六 | | | | | | | 三三五 | 五〇 | 二四一 | 七二 | 二八五 | 三二 |
| 鹿島 | 三八三 | | | | | | | 六四 | 五一 | 二〇〇 | 三八 | 一一五 | 二八八 |
| 玉川 | 四六二 | | | | | | | 六三 | 六九 | 二四七 | 三〇 | 一三二 | 二七 |
| 磐崎 | 一、三〇一 | | | | | | | 二三九 | 二八 | 一、一〇 | 八八 | 三五七 | 一、一九八 |
| 湯本 | 二、八二八 | | | | | | | 二〇七 | 一三五 | 二、〇五四 | 三六 | 三四二 | 二、〇九〇 |
| 四倉 | 一、四五四 | | | | | | | 六八五 | 四四 | 四一四 | 七一 | 七二九 | 四八五 |
| 大浦 | 八四九 | | | | | | | 六三 | 三 | 一四一 | 二七 | 六五五 | 一六八 |
| 大野 | 七七〇 | | | | | | | 三九八 | 一七八 | 二四一 | 四 | 五九二 | 二七〇 |
| 川前 | 五九二 | | | | | | | 四一 | 九六 | 三二 | 一六 | 一三七 | 三三 |
| 植田 | 一、一三五 | | | | | | | 四四七 | 三〇 | 五六 | 一 | 四七七 | 三七 |
| 泉 | 七七五 | | | | | | | 一八八 | 八一 | 三七八 | 三 | 二六九 | 二六八 |
| 渡邊 | 四〇八 | | | | | | | 一三九 | 四四 | 一八〇 | 一五 | 一八三 | 一九八 |
| 錦 | 六二一 | | | | | | | 三〇六 | 四一 | 二七〇 | 一 | 二四七 | 二七〇 |
| 山田 | 六四七 | | | | | | | 三九八 | 四 | 一八八 | 一 | 四〇二 | 一八九 |
| 川部 | 六九三 | | | | | | | 二四〇 | 四五 | 三二 | 七 | 二八五 | 二七 |
| 勿來 | 一、五三一 | | | | | | | 四四二 | 八九 | 七五五 | 八 | 五三二 | 七六三 |
| 上遠野 | 九二三 | | | | | | | 二六五 | 二五 | 四四四 | 六七 | 二九〇 | 五五六 |
| 入遠野 | 八六五 | | | | | | | 一五七 | 六五 | 四三九 | 七一 | 二三三 | 五一〇 |
| 田人組合 | 一、五〇八 | | | | | | | 二一〇 | 一五 | 五五七 | 二 | 二三五 | 五六八 |
| 小名 | 一、九七九 | | | | | | | 九、九六二 | 四、〇三五 | 一九、七八二 | 一、五一四 | 八八〇 | 四〇〇 |
| 合計 | 四一、五三〇 | | | | | | | | | | | | |

## 双葉郡

| 町村 | 有權者數 | 鈴木 | 佐藤 | 比佐 | 氏家 | 政友合計 | 民政合計 | 木村 | 佐藤 | 比佐 | 氏家 | 政友合計 | 民政合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 久ノ濱 | 八一一 | | | | | | | 二〇九 | 六二 | 八六 | 二七三 | 二七一 | 三五九 |
| 廣野 | 八六九 | | | | | | | 二六三 | 六一 | 一五〇 | 三四九 | 三四 | 四九五 |
| 木戸 | 五五九 | | | | | | | 一〇二 | 六三 | 六四 | 三〇九 | 一六五 | 三七三 |
| 龍田 | 六二一 | | | | | | | 七九 | 一五二 | 一九 | 三六〇 | 三三 | 三七九 |
| 大野 | 八一七 | | | | | | | 一七 | 一三 | 一七 | 二八〇 | 一四八 | 三九七 |

## 相馬郡

| 町村 | 有權者數 | 鈴木 | 佐藤 | 比佐 | 氏家 | 政友合計 | 民政合計 | 木村 | 佐藤 | 比佐 | 氏家 | 政友合計 | 民政合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 富岡 | 八一七 | | | | | | | 五八 | 八〇 | 三五 | 五六 | 一三八 | 五六一 |
| 上川内 | 七六二 | | | | | | | 三三 | 九三 | 一八 | 四七二 | 一二六 | 四八〇 |
| 熊町 | 六二〇 | | | | | | | 二〇 | 七〇 | 九 | 四一四 | 一〇〇 | 四三 |
| 新山 | 七七七 | | | | | | | 八九 | 二一四 | 六 | 三四一 | 三〇三 | 三四七 |
| 長塚 | 四九二 | | | | | | | 五九 | 一二三 | 一九 | 二三〇 | 一八二 | 二四九 |
| 請戸 | 五五七 | | | | | | | 七 | 五三 | 七 | 三三八 | 六〇 | 三四五 |
| 幾世橋 | 三八七 | | | | | | | 五 | 七二 | 三 | 二七〇 | 七七 | 二七三 |
| 浪江 | 一、〇九六 | | | | | | | 四〇 | 一八三 | 一七 | 六七五 | 一二三 | 一九二 |
| 大堀 | 七四一 | | | | | | | 一〇 | 一四七 | 七 | 四七四 | 一五 | 四八一 |
| 刈野 | 七〇五 | | | | | | | 一〇 | 一四三 | 五 | 四五三 | 一五三 | 四五八 |
| 津島 | 四三六 | | | | | | | 一 | 八五 | 一 | 二八一 | 八六 | 二八二 |
| 葛尾 | 四七〇 | | | | | | | 一 | 二七 | 四 | 三三〇 | 二六 | 三三〇 |
| 大久 | 四三 | | | | | | | 一九 | 四〇 | 一四 | 二五五 | 三五 | 一四九 |
| 合計 | 一三、六一七 | | | | | | | 一、二三二 | 一、八三九 | 五〇六 | 六、六三六 | | |
| 中村 | 二、六一〇 | | | | | | | 三四 | 五八 | 一一三 | 一、五一九 | 五五二 | 一、六三一 |
| 大野 | 七六〇 | | | | | | | 八 | 一五六 | 六 | 五〇三 | 一六四 | 五〇八 |
| 飯豊 | 六八四 | | | | | | | 三 | 一七一 | 一三 | 三八五 | 一七四 | 三九七 |
| 八幡 | 四九八 | | | | | | | 四 | 五一 | 四 | 三五五 | 四五 | 三七九 |
| 山上 | 四〇四 | | | | | | | 二 | 四四 | 三 | 三五四 | 二六 | 三五七 |
| 磯部 | 三八九 | | | | | | | 一 | 七四 | 四 | 二五四 | 一五 | 二八八 |
| 駒ケ峯 | 五〇四 | | | | | | | 三 | 二四五 | 五 | 二八七 | 二四八 | 一九二 |
| 日立木 | 四〇七 | | | | | | | 〇 | 五〇 | 二 | 二六〇 | 五〇 | 二六〇 |
| 上眞野 | 八七四 | | | | | | | 二 | 三三〇 | 二 | 三八五 | 三四二 | 三九七 |
| 眞野 | 五九四 | | | | | | | 一七 | 二八 | 一〇 | 三二七 | 一二八 | 三二七 |
| 八澤 | 五一八 | | | | | | | 五 | 一二五 | 七 | 三一一 | 一二三 | 三一八 |
| 鹿島 | 六八三 | | | | | | | 一一 | 一九六 | 一七 | 三五〇 | 二二三 | 三六七 |
| 原町 | 二、〇四七 | | | | | | | 六三 | 六三三 | 九〇 | 一、〇〇三 | 七二二 | 一、〇九二 |
| 新地 | 七一四 | | | | | | | 四五 | 四六五 | 六 | 九四 | 四七一 | 一〇〇 |
| 福田 | 三一九 | | | | | | | 三 | 二〇四 | 四 | 一四七 | 二〇七 | 一五一 |
| 福浦 | 八〇〇 | | | | | | | 九 | 一二五 | 一四 | 五四〇 | 一三四 | 六七四 |
| 金房 | 八三一 | | | | | | | 三〇 | 一六三 | 七 | 四四〇 | 一九三 | 一三〇 |
| 石神 | 一、三七一 | | | | | | | 三二 | 三八二 | 二 | 七〇七 | 四一四 | 四〇三 |
| 太田 | 六〇四 | | | | | | | 一三 | 一三一 | 四 | 三七六 | 三五八 | 四三五 |
| 大甕 | 八四五 | | | | | | | 一九 | 二八八 | 〇 | 四〇二 | 三〇七 | 二八八 |
| 小高 | 一、二六一 | | | | | | | 三〇 | 一五三 | 五三 | 八四八 | 一八三 | 二〇六 |
| 新館大須 | 六四一 | | | | | | | 三 | 二一〇 | 二 | 三〇三 | 二一三 | 二一三 |
| 石橋飯曾 | 六七四 | | | | | | | 一 | 一五六 | 六 | 三〇〇 | 一五七 | 一六一 |
| 高平 | 五八八 | | | | | | | 四一 | 二七 | 一三 | 二〇〇 | 二五九 | |
| 合計 | 一九、六二〇 | | | | | | | 三九〇 | 五、一八四 | 四一〇、四六九 | 二、三六〇 | | |

# 當かるかぬら 此の豫想

| | | | |
|---|---|---|---|
| 平警察署管内 | 鈴木 | 佐藤 | 比佐 |
| 植田同 | 九、六四三 | 四、四五一 | 九、五七四 |
| 四倉同 | 三、四一二 | 七二三 | 三、三七八 |
| 富岡同 | 一、八二三 | 一、三六七 | 一、〇一二 |
| 浪江同 | 七四九 | 一、七一二 | 二〇六 |
| 中村同 | 二九九 | 一、八一四 | 八七 |
| 原町同 | 二、一七四 | 二、四一三 | 二三四 |
| 小野新町同 | 五〇三 | 三、〇四九 | 二一六 |
| 川俣同 | 四四 | 一二五 | 三〇四 |
| | 九 | 三八六 | 六 |
| 合計 | 一八、一七六 | 一六、〇五九 | 一五、〇一一 |

氏家 一、〇九三 四四九 二、五〇三 二、六四一 三、三二七 三、七七四 一五 五三五 一四、四九六

## けふ總決算
### 平町の投票所 一番乘の面々

幾多の混亂を捲き起した今回の選擧も本日愈々總決算の投票日となつた、朝來申分のない天候に惠まれ平投票所たる町役場會議室は午前五時半早くも熱心な有權者の押かける處となつて開場と同時に投票イの一番の名乘りを擧げたのは赤組では飯田一行、白組は小林勝彌、紫組では加藤正保の三氏であつて以後續々繰り込みいづれも嚴肅な面持で清き一票を行使する役場當局の設備宜しきを得何等の事故も起さず場内整理の警察官も連日の激務に居寢りが出さうな型ち正午には平町四千餘の有權者中二千四百四十二票の投票を見たが五時頃迄には大部分の投票を終えるであらうと

**不在投票はタツタ一名**

前回の總選擧に石城各濱の不在投票は二百余票に達したが今回は投票日の本日がてうど舊正門の十五日にあたり漁船は一般に休業するところから四倉、小名濱等にも一票もなく十九日午後一時までに江名町で僅に坂本藤藏君が一票を投じただけにすぎなかつた

## 米價は高調子
### 昨日の平窪共同販米 持米が減少

昨報石城郡平窪村の共同販米は昨日午後一時より平農業倉庫にて執行、五等八十八俵、等外廿二俵を入札に附し五等八圓七十五錢、等外八圓五十五錢を以つて平丹野修一郎氏に落札されたが農家の持米益々減少し十五日の大浦倉庫に於ける共販より十五錢の高値である

× ×

## 石城の徴兵檢査は五月一日より開始
### 平町の壯丁百七十五名

本年度執行すべき徴兵適齡者の檢査日割は五日一日より四日迄植田小學校、五日より十三日迄平第一小學校にて執行と決定したが平町の受檢壯丁は百七十五名である、尙郡下の抽籤徴兵日割は八月卅一日との事である

＋ ＋

## 正月の餅を食ひ過ぎて
### 兒童等の欠席率が最近メツキリ增加

平町各小學校の兒童の欠席率が最近メツキリ增加して各校共平均二十名内外に上つてゐるので各當局で調査すると舊正月のもちを食ひ過ぎで胃腸を壞したものと分つたので學校でもそれぞれ注意するところあつた

## 國稅基本調査
### 申告を督勵

平稅務署では目下所得稅及び營業收益稅賦課の基本的調査を行つてゐるが大體昨年度より約一割近い減少の見込みであるが選擧終了を待つて直ちに所得稅の申告書用紙を各町村に配付來る三月十五日までの期間内申告を督勵する事となつた

**女監視員定員突破**

既報平職業紹介所で目下各方面より募集中である昭和産業博覽會の女監視人は十五日より受付を行つて居るが本日迄に既に定員の四十名を超過する事三名であると

## 植田の火事
### 子供の弄火

石城郡植田町農鈴木善助方から十九日正午頃發火住家二棟非住家二棟を全燒した原因は附近の子供が同家裏で弄火中乾草に火が燃え移つたものである

## 平映畫界

◉世界館　東亞現代劇里見明・原駒子。主演『霧の中の白蓮』帝キネ時代劇松本田三郎主演『京落町人魂』東活映畫澤村國太郎・牧野智子主演『振袖勝負』パラマウント探偵劇ジョージバンクロフト主演『非常線』

◉平館　廿三四の兩日短期特別興行日活現代劇神田章三主演『桐の木』日活時代劇光岡龍三郎主演『國定忠治裸道中』ユーナイテツト映畫大空中戰ベンライオン主演『地獄の天使』十五卷

## 明日のラヂオ
仙台放送局

### 今晩の部

▼後七、三〇 子供の夕（獨唱）宮下晴子外
▼後八、〇〇（少年講談）神田山陽
▼後八、三〇（お琴）町田杉子外
▼後九、〇〇（管絃樂）東京ラヂオオーケストラ
▼後九、三〇 奉天より「支那正月の踊狀況」
▼後九、四〇 時報 全國ニユース 氣象通報 番組豫告

### 明日の部

▼前九、一〇 榮養料理「白菜和肉、卸し大根」榮養研究所
▼前九、三〇 子供の時間お話皆「樣に出來る電機器具」本間清人
▼前一〇、〇〇 宗教講話「阿含の聖譬喩」北畠玄融
▼後一〇、四〇 講演「謠の道しるべ」（七）實演 解說池内信嘉 觀世左近
▼後一〇、五〇 筑前琵琶「平野の最后」光田旭蟬
▼後一、二〇 俚謠と囃子 加瀨澤品吉外
▼後二、二〇 箏曲「五段砧」西平芳枝外
▼後二、五〇 「民謠りんりやう節と松坂節」後藤桃水外
▼後六、〇〇 子供の時間 三重奏「母の子守唄」トリオジン
▼後六、三〇 時事講座「死線に立ちて戰況報導に活動する人々」時事新報編輯次長政治部長後藤武男
▼後七、四〇 謠曲「籠太鼓」寶生新外
▼後八、一〇 長唄「操三番叟」小萩外
▼後八、五〇 ピアノ三重奏定期演奏（第十回ピアノ三重奏）モギレフスキートリオ
▼後九、三〇 奉天より「今日の滿洲支那音樂」

天氣豫報

今晩は北西晴明日は北西の風午前中晴午後曇り

小説

# 千代子

（百五十七）

渡邊默禪作
布施平八郎畫

【禁轉載】

ほとゝぎす　(1)

澤山の室と窓と高い塔を持つたビルディング式の營業場はすつかり閉鎖されて了つて、折柄外國貴賓の訪問に、東京市中の大通りは何處もかしこも美しい電火裝飾に輝き渡つた初夏の夜に、この店ばかりは灯の明り一つ洩れぬ骸骨のやうな眞黑な建物の影を淋しく空に立てゝゐた。

頓て二十日程經つと、店先に『十文字商會に關する用件は凡て拙者方へ申込まれたい』と辻村の名儀で掲示が出た一方には貸家の札が無慘な末路の夢をあらはに語るかのやうに貼り出された。それが人目につきやすい街角であつてしかも既往の榮華振を誰にも連想させる豪商の沒落の跡だつたので、皆な足をとゞめ一度は必らず讀んで見るほどの好奇心をそゝられた。

源之助や千代子は何處へ行つて何をしてゐるか、親しかつた人たちでも其消息を知つてゐる者はなかつた

倶樂部の若い男は、源ちやんなら最う東京にゐないよ、とつくの昔米國へ飛んでいつて、今は紐育で皿洗ひをしてゐるなどゝいつた

又千代子のクラスメートだつた女は、いつか淺草で白いエプロンをかけた千代子さんを見かけたから、呼んだら泡を喰つて隠れて了つた、と珈琲店にでも潜つてゐるかのやうに吹聽して廻つた。

もせずに玄關のところにぼんやり突立つてゐた。

『まア、お珍らしい。如何なすつて、貴君、さアお上んなさいよ、何故そんな所にうろ〳〵してゐなさるんです』

『アハゝゝ。御無沙汰……上つてもいゝかね』

陰氣な笑樣をして、持つてゐた番傘を逆にさにこと〳〵とたゝきをついて雫を落した。

それがいつもなら自動車から飛出して來て、いきなり二階へ上る人だから可笑しかつた。

と、源之助は或る雨の映にひよつくりと姿を見せたところは三十間堀の蝶々といふ馴染の待合であつた。

『あら……』

女中が顔を見るとびつくりしたやうに奥に入つて女將に知らせた。女將が出て來た時には、彼は上がうと

『いゝかねは恐縮ですねえさお上りくださいよ。應やいつものお座敷へ』

『ぢや、ちよつと拭き物を借してくれ、足が汚れてるから』

『あら、お徒歩でいらつしやたんで……まア』

見てゐると梯子を上るにも足の勢が前と違つてゐたやがて緣側をぐるりと曲つて一番奥の八疊へ通された彼は、着てゐたインバネスを自分で脱いで折へかけてから、懷中に入れてあつた紺足袋を出して穿きはじめた。途中で脱いで棄足で來たものらしかつた。

間もなく女將が上つて來た時には、彼は生頂面に繁檀の食卓の前に坐り込み、昔を偲ぶやうな目つきで床の間の軸物や畫額などを看廻してゐた。

『若旦那。どうなすつたんですよ。隨分慘いお見限りぢやありませんか。偶にはお顔を見せて下さるもんですよ。

でもお珍らしいのね、どういふ風の吹廻しでせう。今晩は』


難波醫院
平町新川町【釜屋新宅向】
電話五〇二番

松村病院
平南町
電話〇七一
腸病　胃性
淋病　皮膚病　婦人病
十二指腸虫病
專門科

市原醫院
平町田町（電話一一四番）
內科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋毒　市原三三男
入院隨時

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器
開內藥局
電話四〇番

專門　內科一般
宅診　內科は何でも診療致します
往診　呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五
川井內科診療所
電話一八一番
醫學士　川井重之
女醫　川井安子

お醬油は……ヤマフル
醬油　味噌　たひら　正宗　鰹節　食料品
鹽屋　山崎合名會社
福島縣平町【電話營業部一〇釀造工場三七】
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

誠に便利な
商品券
何卒御利用下さいませ
電話二八六番
金額の多少に不拘調製致します
平町南町
鷄卵　鳥肉　南鳥菊

上田外科醫院
平町南町
電話二一九番

印刷物の御用命は總て
常磐毎日印刷株式會社へ
電話六三〇番